

ウェビナー「バイオフィotonicsの第一人者が一堂に会します from Japan and Scotland" イベントレポート

報告書作成日：2023年3月 29日th

レポート執筆者：Bertrand Frossard（Chromacity、ウェビナー共同開催者）

ページ数です： 3

1- 組織

ウェビナーの開催は2023年10月上旬からで、内容は以下の通りです：

- 共催者間の初回エンゲージメント（4）
- ウェビナーのテーマの定義
- 講演者の選定（日本から3名＋スコットランドから3名）
- プログラム作成（英語・日本語）
- スポンサーやサポーターとのエンゲージメント
- 技術組織
- ウェビナー普及のためのマーケティングキャンペーン
- ウェビナー配信日：2023年3月27日（月）th
-

主催者間の最初のコンタクトからウェビナー配信までの期間：**6ヶ月**。

ウェビナーの共同主催者は、以下の通りです：

- バイオコミュニティ関西、フォトンクス・ライフエンジニアリング分科会
- スコティッシュ・デベロップメント・インターナショナル
- フォトンクス・スコットランド
- クロマシティ

ウェビナーのスポンサーとサポーターは以下の通りです：

- 関西医薬品工業会
- NPO 法人近畿バイオインダストリー振興機構
- アーバンイノベーション研究所
- ライフサイエンスイノベーションネットワークジャパン(LINK-J)
- 2025年万国博覧会を目指す日本協会。



ウェビナーのスピーカーは以下の通りです：

- バイオコミュニティ関西副社長兼エグゼクティブスーパーバイザー 坂田恒明教授
- フォトニクス・スコットランド シニア・プログラム・マネージャー Alison McLeod 博士
- クレア・ホスキンス博士（ストラスクライド大学純正・応用化学部バイオナノテクノロジー研究室リーダー

- グラスゴー大学物理学・天文学部 上級講師 ジョナサン・テイラー博士
- 大阪大学応用物理学教室 坂東一樹氏
- 国立研究開発法人産業技術総合研究所 永井秀典氏（日本） 産業技術総合研究所

2- 登録と出席

共催者、協賛企業のマーケティング活動により、以下のような登録がありました：

- **総登録者数126**
 - 日本からの登録者数：83名（65.9）
 - イギリスからの登録者43（34.1%）

登録ポータル（Eventbrite ポータルを通じて）は、2月24日thから3月26日thまでオープンしていました。

ウェビナーの出席者は以下の通りです：

- **出席者数ピーク：59**
 - 日本から 47 (79.7%)
 - その他の地域から：12名（20.3%）。
- (ウェビナーは合計で 78 分でした)

参加者/登録者の比率は **46.8%**で、予想される高い率（33%~50%予想）に近く、良い結果であった。

ウェビナーの最後に行われた質疑応答では、合計 8 件の質問がありました。

コメント

このグループの出席率が低いのは、「その他の地域」のウェビナーの時間帯（ヨーロッパでは月曜日の午前中、アメリカ大陸では夜間）のせいかもしれません。

Q&A セッションには、もっと多くの質問を期待していた。質問数が比較的少なかったのは、ウェビナーが英語で行われたことが原因かもしれません。ウェビナーの冒頭で、日本語での質問も可能であり、翻訳してから（英語で）回答することを示したが、参加者のほとんどが日本人であったため、質問をすることに躊躇してしまったかもしれない。

3- フォローアップ活動

フォローアップの内容は以下の通りです：

- A. 参加者全員に、参加へのお礼と、講演者の連絡先（メールアドレス）を伝えるメールを送る。このメールでは、今後数カ月以内に 2 回目のウェビナーを開催する予定であることも伝えていきます（下記のポイント B.を参照）。



- アクション完了日：2023年3月29日（英国時間）th
- B. ウェビナーの共同主催者と出席者のリストを共有する。
→ アクション完了日：2023年3月29日（英国時間）th
- C. 参加しなかった登録者に、ウェビナーが録画され、Chromacity YouTube チャンネルで「キャッチアップ」できるようになったことを知らせるメール。
→ アクションの保留 - 録画にウェビナーのタイトルを含めるよう修正する。アクションは、4月10日（金）thに始まる週に完了する予定です。
- D. バイオフォトニクス用途のコンポーネントやソリューションを開発する企業によるプレゼンテーションに焦点を当てた第2回ウェビナーを開催します。日本企業2社、スコットランド企業2社が、エンドユーザーや産業界のパートナーとの交流のために、自社の製品についてプレゼンテーションを行う機会を提供します。
→ 保留：産業用ウェビナーの日程は、第1回ウェビナーの共同主催者が決定する。

レポート終了